

富士見市地域活性化事業

—No.31 富士見市—

【事業の内容】

水と緑の豊かな自然、特色ある公園、シンボリックな文化施設、眺望、地場産品、ものづくりの技など、本市固有の資源の魅力を引き出し、魅力を高めるとともに、情報を発信することにより、多くの人々が訪れ、活力のあるまちづくりを進めます。

これまでも桜のオーナー制度やマスコットキャラクター「ふわっぴー」を活用してのPR、フィルムコミッション、フェイスブックを通じた地域資源の発信などに取り組んできました。

平成28年度は地域活性化研究会（愛称：ふじみ☆ラボ）の支援や富士見市PR大使の委嘱・活用など、更なる地域活性化を推進していきます。

【事業年度】

フィルムコミッション富士見 平成22年度～

桜のオーナー制度 平成22年度～

富士見江川サイクリングコース整備 平成23年度～

富士見市マスコットキャラクター 平成24年度～

富士見市地域活性化研究会（ふじみ☆ラボ） 平成27年度～

富士見市PR大使 平成28年度～

【予算額(千円)】

5,077千円（平成28年度）

【財源】

特定財源（まちづくり寄付基金繰入金）、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

市のイメージアップやPRを進めていくためには地域活性化が必要と考え、秘書広報課の中に地域活性化担当を創設し、桜のオーナーやフィルムコミッションなどに取り組みました。平成23年から地域文化振興課を創設し更なる地域活性化の推進をしています。

【事業のPRポイント】

桜のオーナー制度や地域活性化研究会など、市民と協働で地域資源の発掘や創設などに取り組んでいます。

【事業実績・成果・今後の展開】

地域活性化事業の一環として緑の普及・推進を図るため、市民協働で桜を植樹し、永く愛される桜並木を造ることを目的とし、桜のオーナー制度を平成22年度から実施しています。これまでに115本の河津桜の植樹を行いました。

また、サイクリングやジョギングなど気軽な散歩コースとして多くの方に利用され、秋にはコスモスも咲き、花や田園風景、川面の水鳥などを眺めながら自然を感じられるサイクリングコースの整備、富士見市マスコットキャラクター「ふわっぴー」の活用、フィルムコミッション富士見やフェイスブックを通じた市のPRを行ってきました。

平成28年度は、富士見市にゆかりのある著名な方6人に大使を委嘱し、SNSやマスメディアでの富士見市の発信や市のイベントへの出演協力などの活用を予定しています。更に富士見市地域活性化研究会（ふじみ☆ラボ）との協働により、観光アプリ「ココシル☆ふじみ」の運用開始、観光マップの作成やマスコットキャラクターのグッズ作成などに取り組んでいきます。

将来的には、富士見市地域活性化研究会（ふじみ☆ラボ）は市の観光事業や地域おこしを担う組織を目指していきます。

<参考>

- ・ 富士見市観光アプリ「ココシル☆ふじみ」

<https://www.city.fujimi.saitama.jp/40shisei/19chikatu/kankouapuri/osirase.html>

- ・ 富士見市PR大使

有安杏果さん（タレント・ももいろクローバーZ）

板倉俊之さん（お笑い芸人・インパルス）

今成亮太さん（プロ野球選手・阪神タイガース）

小原日登美さん（ロンドンオリンピックレスリング金メダリスト）

下川原利紗さん（2015ミスユニバースジャパン ファイナリスト〈埼玉大会グランプリ〉）

千種ゆり子さん（気象予報士、防災士）

〔 連絡先 〕

地域文化振興課 049（251）2711（内線251）